

## FIWC 関東中国 2008 年夏ワークキャンプ下見報告書



日程：2008年4月27日～5月4日  
 場所：中華人民共和国広東省（土光村、電白村）  
 メンバー：高橋真代、江口潔和、原田真二  
 協力：JIA“家”

### キャンプ地決定 広東省 吳川市 土光村

下見の結果2008年夏のワークキャンプは広東省土光村で行うこととなった。（3年ぶり4度目）この下見では、広東省西部にある巨場村、土光村、2つ村へ出向いた。下見へ出発する以前日本では、湖南省、広西チワン自治区での下見も計画されていたが、以下の理由により中止した。

湖南省で下見を行なかった理由。

日本での下見MTGで湖南省でのキャンプを希望していた。湖南省でのキャンプ下見は政府の許可をとる事が必要だが許可申請が出来なかった。

（※1週間以上前からの許可申請が必須）

そこで以前から交流・情報のある村から下見候補地を検証する事となった。一つ目の村は、ライフラインの状況さえ悪い。しかし、2009年2月に村が引越するため、ワークニーズはなかった。そして、二つ目の村は引越予定はないが、近年建設し直されたばかりで、ワークニーズなし。以上の結果湖南省に下見候補地はなかった。

広西チワン自治区で下見を行なかった理由

広西省（広西チワン自治区）でも下見候補地はあったが出向かなかった。

(1) SPT村の場合

村の状況が悪い。水のシステム設備もないため、中国人キャンパー主催による建設ワークキャンプが夏に行われる。

しかしながら、数年前に南寧の大学と日本人キャンパーがキャンプを行った際に、雷が原因!?で急遽下山してしまったと言う過去がトラウマになっているために、外国人とキャンプはしないと断念。

(2) SD隔離村の場合

この村も数年前に建物が建設し直され状況が良い。がしかし、台所のいくつかの煙突に穴が空いてしまった為、部屋の中に煙が入ってしまうという問題を抱えていた。それを直すというワークはどうかという案が出たが、ワークニーズレベルが低いと考察、また SPT 村同様に南寧の大学の協力が得られないわけで断念。

こうして、本番キャンプが行えなければ下見に行く必要なしと判断し、下見は広東省内で行った。

※FIWC関東は広東省を中心にキャンプを行っていた。広東省は中国国内では、比較的に裕福である省のために、村の建物が新しく建て直されていたり、学生によるワークキャンプの介入のおかげでワークニーズが少ない省である。

### 下見スケジュール

- 24日 @広州  
 江口、高橋、広州白雲空港集合  
 燎太郎さんと合流 燎太郎さん家にてGYとMTG
- 25日 @広州  
 JIAのオフィスにてGYと下見候補地検証、決定  
 真二合流  
 燎太郎さん家にて下見スケジュールのMTG、確認
- 26日 土光村に行く。  
 10:30-広州市～吳川（ウーチュワン）市へ出発  
 18:00-吳川市街にて中国キャンパー3人と合流  
 19:00-土光村到着  
 現地村人聞き込みアンケート
- 27日 @土光村→電白村  
 午前 現地設備確認、聞き込みアンケート  
 14:00-電白村へ（中国人キャンパー2人お別れ）  
 17:00-電白村到着  
 18:00-現地村人へ聞き込みアンケート
- 28日 @電白村  
 午前 現地設備確認、聞き込みアンケート  
 （中国人キャンパースネークとお別れ）  
 午後 現地村人と交流
- 29日 @電白村→土光村  
 午前 電白村出発  
 13:00-吳川市市街にてスネークと合流）  
 14:00-土光村到着  
 夏のワークキャンプに向けて、ワークニーズ調査  
 15:00-希望ワークニーズの予算、日程を確定させるために現場の計測
- 16:30-下見組によるMTG  
 19:00-22:00 夕食後、村人の息子である大工さんに  
 予算、日程、人数等詳細を確認、話し合い
- 30日 @土光村  
 10:30-村人を全員集めてもらい青空MTG  
 12:00-エンジニアとのMTG  
 14:30-下見組によるMTG  
 17:00-ジャンジャンへ  
 22:00-中国人キャンパースネークとお別れ  
 高橋、江口、真二は広東海洋大学にて宿泊
- 31-2日 高橋、江口は海南省で行われるミニキャンプに参加  
 真二は広州へ
- 5月3日 午前 広州、燎太郎さん家にて集合  
 午後 広州観光（北京路）  
 21:00-江口、真二はリンホウ村へ
- 5月4日 高橋、帰国  
 5月7日 江口、真二、帰国

## 下見・実地調査

### 巨場村

2～3年前に建物が新しく建設し直されたため、ワークキャンプがここ数年開催されていない村。GYより、口の字型に造られた建物の中庭の砂が舞ってしまうために、白内障を患っている目を悪化させてしまうのでコンクリートでその砂を覆い、舗装するというワーク案が出た為の下見を行った。

- ・日程：2008年4月27日～29日
- ・村の人数：30人
- ・村のコンディション：良。2～3年前に建物の立て直しを行い、新しい。一つ一つの部屋の大きさも広く、部屋の中に一つずつ水道場がついている。
- ・村人との交流：良。しばらく、キャンパーが来てなかったためか、ご飯を作ってくれたり、町まで迎えに来てくれたり積極的に交流を求めて来てくれる。
- ・村と町：近い。通いやすく、隣の村人との交流も良。
- ・ワークニーズ：建物の作りが、口の字型になっているため中庭が存在する。その部分のコンクリートで舗装。

村人への聞き込みアンケートによると、「政府から引っ越しの話も出ているので、いらぬのでは？でも、雨になるとすぐに歩きづらくなるので固めて欲しい」の意見。また、「特に問題はない。ワークニーズは村長が決めること。」との数人の意見。村長の権力の強さも考えられるが、村人との交流や観察より、ワークニーズが低いためにこのような発言があると考察し、キャンプ候補地としては、はずすことにした。

### 土光村

FIWC関東委員会にとっては、2004年春トイレ建設ワークキャンプ、同年夏目メインロード舗装、階段作りキャンプ、2005年夏にシャワー室建設、慶応大学PEACEとの合同開催キャンプが行われた馴染みの深い村。しかし、ここ数年ワークキャンプは開催されていない。2004年にトイレをもう一つ造ると約束していたので、トイレ建設ワークキャンプの案が出た為下見へ。

- ・日程：2008年4月26日～27日、29日～30日
- ・村人の人数：38人
- ・村のコンディション：普。水道、シャワー室、トイレの設備あり。一人や一家族用の部屋あり。しかし、道がでこぼこであったり、屋根の雨漏りがひどかったり、シャワー室が足りない等の設備不備がみられる。
- ・村人との交流：良。2005年よりキャンプは行われませんが、ワークキャンプを行うことに積極的に関わってくれる。
- ・村と町：バイクで15分。物売り等の行き来あり。
- ・ワークニーズ：以下の通り

#### (1) トイレ建設

2003年11月に3つのトイレ建設をというワークニーズ案があったが、村人の聞き込みアンケートでは2004年に建設したトイレ一つで十分とのこと。その逆側にある、トイレは遠すぎるため使用されていない。

→トイレに関してはワークニーズがないので断念。掃除のみ行う。

#### (2) 面の舗装

土光村は娯楽室やトイレがある棟が最も高い位置にあり斜面になっている。坂道や階段の多い地形である。小石も多く歩きにくいとの意見が多く出た。30日の村人を全員呼んでのMTGで、最もニーズが高かった。

→予算、日程を照らし合わせ下見組でのMTGでも、ニーズが高いと考察し、メインワークに決定。

### @巨場村



口の字型の建物の中心に生えている木々。



子供達と戯れる下見参加者のスネーク。

### @土光村



後遺症のある村人も働いている。



2004年春 トイレ完成の様子



デコボコで坂もある路面

### (3)屋根の張り替え

村人の聞き込みアンケートの時の問題で多く出た、雨漏り。多くでの箇所  
で雨漏りが起こっている原因は、屋根の張り替えの時期になったためである。  
そして、ある一つの屋根が平坦になっているために、雨が降ってしまうと水が  
たまってしま問題もあった。

→地面の舗装のニーズが高かったが、下見組の考察で屋根の張り替えニーズも  
高いと考えた。そのため、地面の舗装と同時に行うことを決定した。屋根の材  
質のメリット、デメリットも伝えた上で村人に材質も選んでもらった。平坦に  
なった部分も、斜めにし終わるようワークを進めていくことで決定。



老朽化した屋根。雨漏りがひどい。

### (4)シャワー室建設

2005年夏にワークキャンプとして村の真ん中にシャワー室を建設した。し  
かし、その左側にあるシャワー室のドアが壊れたためその修理。そして、2005  
年にもう1つを建設予定だったが、金銭上中止になったしまったために、シャ  
ワー室のない側に作るという案が出た。

→実際、村人は冬にしかシャワー室を利用していない。(2)地面の舗装(3)屋根の  
張り替えと比較した際に、ニーズのレベルが低いと考えられた。その上で、日  
程、予算を考えたところ、シャワー建設は難しいという結果となり、断念。し  
かし、左側にあるシャワー室の修理を行い利用できるようにする予定。



村人を集めてミーティング。

### 予算案

項目	品目	単価	数量	合計
屋根修理	シート	4 RMB /m <sup>2</sup>	294 m <sup>2</sup>	1,176 RMB
	釘	10 RMB /kg	10 kgs	100 RMB
	針金	7 RMB /kg	5 kgs	35 RMB
	大工A	70 RMB /day	14 days	980 RMB
	大工B	70 RMB /day	14 days	980 RMB
道舗装	石	300 RMB /car	9 cars	2,700 RMB
	砂	160 RMB /car	8 cars	1,280 RMB
	セメント	20 RMB /bag	250 bags	5,000 RMB
	大工C	70 RMB /day	14 days	980 RMB
	大工D	70 RMB /day	14 days	980 RMB
	運搬費	80 RMB /time	2 times	160 RMB
合計：				14,371 RMB

14,371RMB≒214,128円 ※1RMBは約14.9円(2008年5月現在)

(制作：原田真二)

以上の理由により2008年夏のワークキャンプは3年ぶり4度目となる広東  
省吴川市土光村で行う事となった。

キャンプ詳細については別途、キャンプ案内にて紹介。

### おわりに

最後になりましたが、今回の下見を行うにあ  
たって、多くの方々にお世話になりました。

まず、下見と一緒に来てくれた江口潔和、原  
田真二、本当にありがとうございます。中国に行  
くと決め、一人で行く覚悟をしてましたが、一緒  
に来てくれると言ってくれた時は涙が出るくら  
い嬉しかったのを覚えています。

次に、JIAの関係者の皆様ありがとうございます。  
特に、原田燎太郎さん、GYには現地の情報、  
アドバイス等つきっきりでお世話になりました。  
また、下見を共にしたり、ミニキャンプで一緒  
になった中国人キャンパーの方々、本当にありが  
とうございます。8月のワークキャンプでまた会  
えることを楽しみにしています。

そして、FIWC 関東中国キャンプのメンバー、  
日本にいる間に下見のための準備等の協力本当  
にありがとうございます。特に、吉田亮輔さん、  
下見の準備、アドバイス、HP管理、広報関係等、  
多くの面でカバーしてもらい本当にありがとう  
ございました。

まだまだ、「ありがとう」が言い尽くせないく  
らい、多くの大好きな仲間の好意に頼っています。  
私は、この「ありがとう」を直接返すことはでき  
ないかもしれませんが、この感謝の気持ち  
全てを全力で夏のワークキャンプに向け、作り上  
げて、成功させます。

また、広報、説明会やワークキャンプ準備等  
で FIWC 関東中国キャンプ関係者の方々にお世  
話になるとは思いますが、夏のワークキャンプの成  
功を祈り、ご協力お願いいたします。

以上で下見報告は終わりますが、FIWC 関東  
中国2008年ワークキャンプの詳細もホームペ  
ージ Fiwc-c.com に載っていますので、重ねてご覧  
ください。

FIWC 関東中国ワークキャンプ  
リーダー 高橋 真代

### 用語の解説

JIA…“家”中国語で読み方はJIA(ジャー) また Joy In Acton の頭文字をとったもの。  
FIWC 関東委員会出身の原田燎太郎が代表を務める中国ハンセン病快復村支援 NPO 法  
人。ワークキャンプのコーディネート・マネージメントをアシストする。

GY…JIAで働く、プロジェクトマネージャー。スヌーピーに似ている!?

MTG…meeting の略式 ミーティング・会議